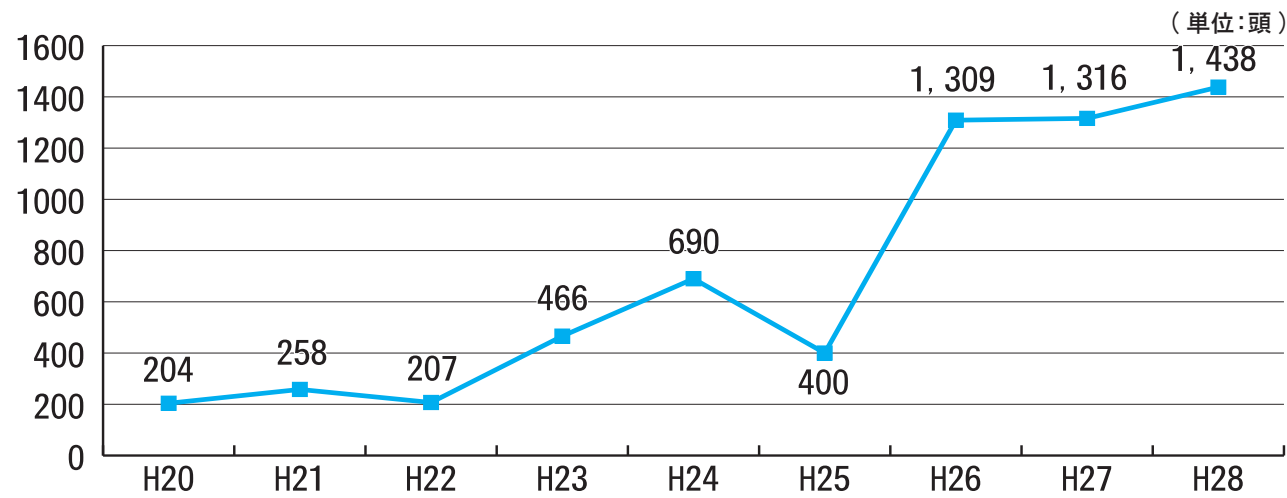


岩手県内のシカ捕獲頭数の推移

地区	県内							大船渡市
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
狩猟	1,797	1,160	661	1,546	816	629	647	180
捕獲委託	-	-	2,238	4,556	4,182	4,110	4,632	893
有害駆除	376	743	1,341	3,517	5,921	4,806	5,718	1,438
計	2,173	1,903	4,240	9,619	10,919	9,545	10,997	2,511

※狩猟…猟期に狩猟目的で捕獲された頭数
 ※捕獲委託…県より猟友会に委託された捕獲事業で捕獲された頭数
 ※有害駆除…鳥獣被害対策実施隊により捕獲された頭数

大船渡市鳥獣被害対策実施隊のシカ捕獲頭数の推移



(2)ニホンザル
 岩手県が平成27年度に実施した五葉山周辺地域(釜石市、大船渡市、住田町、大槌町)のニホンザルの生息調査では、30頭から50頭ほどの群れが4群ほどの生息が確認されています。
 本市においても、日頃市町を中心に30頭ほどの群れが確認されています。
 (農家の被害対策)
 イチジク、カキ、クワなどの果実を収穫せずに放置することは、サル被害の拡大要因となります。果実は、適期に収穫し、収穫しない残りの果実は、成熟する前に全て処理することが大切です。また、防護網は、高めにし、天井にも網を張ることで効果が増します。



五葉山に生息するニホンザル

(3) 広報大船渡 30.5.7(No.1126)

▷問い合わせ=市役所 ☎0192②3111

野生鳥獣の被害対策は大丈夫ですか？

▷問い合わせ先=農林課林業係(☎内線7125)



大船渡市の野生鳥獣被害

大船渡市には、県が自然公園に指定している五葉山を中心に、ニホンジカ、ツキノワグマ、ハクビシン、ニホンザルなど、多くの野生鳥獣が生息しています。
 作物の被害は、農家の生産意欲減退や規模の縮小、廃業による耕作放棄地の増加につながり、放置された農地は、野生鳥獣の生息域になるなど被害をさらに増加させる原因の一つとなっています。

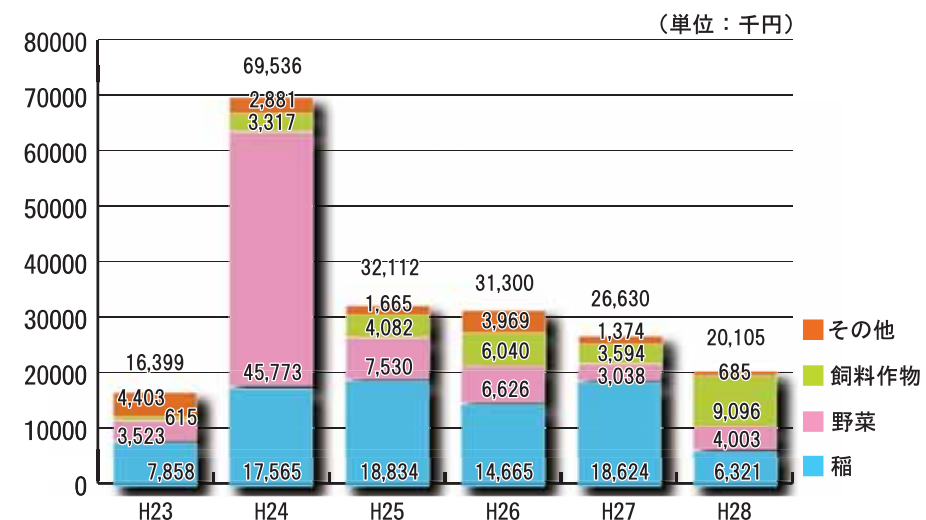
野生鳥獣の生息状況、被害対策と課題

(1)ニホンジカ
 平成24年の県の調査によると県内には約40,000頭が生息していると推計されていますが、うち五葉山系におけるニホンジカの生息数は、約7,000頭から11,000頭と推計され、適正頭数とされる2,000頭を大幅に上回っています。

農家の被害対策

耕作放棄地の草刈りは、定期的に、田畑は、防護網

野生鳥獣による作物別被害金額



電気柵を張り、進入を防ぐことが大事です。特に、草刈りや防護網の補修は、地域ぐるみで行うことが大切です。
 (市の取り組み)
 市では、捕獲を中心にシカ対策を強化しており、猟友会の捕獲活動に、ご理解とご協

力をお願いします。
 岩手県は平成25年度から35年度の10年間で40,000頭のシカを2,000頭にまで減らす計画を立てており、本市においても有害鳥獣捕獲事業において毎年1,400頭ほどのシカを捕獲していま

(2)